

特別社員  
森川彌右衛門氏

氏は天保十三年九月京都に生る、明治九年始て戸長を奉職し、同廿七年區會議員に當撰現今に至る、同卅三年十一月永松小學校の學務委員に當選し以て勤續同卅七年に至る同卅九年五月赤十字社に貳百圓を寄附して特別社員に推選せられその他公共慈善の事業に就いては卒先盡瘁し卅九年四月區役所を経て下京區貧民に白米十石を施與せるを始めとし學校改築費其他の寄附最も多く積りて壹千圓に上ると云ふ奇特と謂ふべし、因に其居は京都市西石垣四條下る所にして松華樓と云ふ旅館を營めり

特別社員 森川彌右衛門氏

氏は天保十三年九月京都に生る、明治九年始て戸長を奉職し、同廿七年區會議員に當撰現今に至る、同卅三年十一月永松小學校の學務委員に當選し以て勤續同卅七年に至る同卅九年五月赤十字社に貳百圓を寄附して特別社員に推選せられその他公共慈善の事業に就いては卒先盡瘁し卅九年四月區役所を経て下京區貧民に白米十石を施與せるを始めとし學校改築費其他の寄附最も多く積りて壹千圓に上ると云ふ奇特と謂ふべし、因に其居は京都市西石垣四條下る所にして松華樓と云ふ旅館を營めり